

# 研究授業のご意見

保健体育

手だて②	予想する生徒の姿
<p>投げ技で「一本」を取るために、自分の考えをもって練習試合に取り組むことができるよう、問い合わせを行い、目的に合った方法になっているかを確認させる。</p> <p>T:「どうして○○したの？」 T:「相手はどうなると思う？」</p>	<p>・反時計回りで移動すると、相手を右前に崩しやすくなると思ったからです。 ・相手は倒れたくないから、右足を前に出すと思います。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>この場面では、それぞれのメンバーの作戦がグループ全体で共有されると、練習試合の際にアドバイスがしやすくなるのではないか。</li> <li>グループとして明確な目標があると、「他者に伝える」ための視点がよりはっきりするのではないか。</li> <li>活動場所が狭いため、練習するペアと観察・アドバイスを行うペアに分け、前半・後半で交代しながら取り組むのが効果的ではないか。</li> <li>力任せになっている生徒もいたため、まずは「崩し」の理解と習得を優先する必要があるのではないか。</li> </ul>	
<p>成果と課題を知り、解決方法について再考できるようにするために、実際に対戦した相手をはじめ、両グループの生徒から意見を聞く時間を設定する。</p>	<p>大内刈りをかけて、前に体重をかけたら背負い投げをかけようと思っていたよ。 →大内刈りで足を引っかけられた時、あまり押されなかつたから耐えられたよ。 →体が相手から離れていたのかな。次は相手との距離を縮めてみよう。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>作戦を相手グループにも伝えてから練習試合に取り組むと、相手グループもアドバイスしやすくなるのではないか。</li> <li>アドバイスをもらった後に、もう一度練習試合ができると、より学びが深まるのではないか。</li> <li>受と取に分かれての取り組みだったため、「一本」を取るのが難しかったのではないか。</li> <li>アドバイスの中に抽象的な言葉が多く見られたため、テンプレートがあるとよいのではないか。</li> </ul>	
手だて③	
<p>友達と比較することを通して、新たな考えに気付かせたり、より発展的な思考を促したりするために、振り返りの視点【①分かったこと】と【④次に生かしたいこと】を設定する。また、振り返った内容を全体で共有する。</p>	<p>①分かったこと ・同じ方向の技を続けてかけるのも有効だということが分かった。 ④次に生かしたいこと ・小内刈りで崩して、大内刈りで倒したい。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>「課題の解決方法が分からない」など、困ったことをグループで集約し、全体で共有できるとよいのではないか。</li> <li>タブレットで撮影した映像を見返す時間を設けると、より学びが深まるのではないか。</li> <li>振り返りの時間になると一人の世界に入りがちなので、グループで振り返る時間を取りとよいのではないか。</li> </ul>	

## 授業者の振り返り

投げ技には危険が伴うため、「やってみたい」という思いはありながらも、ここ数年は授業で扱ってきました。しかし、危険性を可能な限り軽減できれば取り組めるのではないかと考え、昨年度は受け身の習得に重点を置いた授業づくりに取り組みました。そして本単元では、投げ技の習得に向けて段階的に取り組みを進めてきました。本時では、投げ技で「一本」を取ることを目標に、グループ練習や練習試合など、他者と関わる活動を取り入れました。「一本」を取る場面は多くは見られませんでしたが、思い通りにいかない経験を通して新たな課題に気付き、その課題を解決するために試行錯誤を重ねながら、自らの考えを検証し、より良い方法を見つけていけるようにしていきたいと考えています。

ご参観いただいた先生方には、たくさんのご助言をいただき、誠にありがとうございました。いただいたご助言をもとに、技能向上に向けた活動の充実や、振り返りに関わる一連の取り組みの改善を図り、生徒が学びをたのしむ姿につながる授業づくりを目指していきたいと思います。

